



2006年7月3日

株式会社東ハト株式譲渡について

本日、ユニゾン・キャピタル・パートナーズ・エルピー（Unison Capital Partners, L.P.、以下「ユニゾン」）は山崎製パン株式会社（以下「山崎製パン」）との間でユニゾンが所有する株式会社東ハト（以下「東ハト」）の普通株式 69,366 株全てを譲渡する契約を締結しました。

東ハトはスナック、ビスケットを主力商品とする菓子メーカーで、2006年3月期の売上高は188億円です。同社の強みは、「キャラメルコーン」、「ハーベスト」、「オールレーズン」、「ポテコ」、「なげわ」等、消費者の認知度が高いロングセラーブランドを多数有すると同時に、「暴君ハバネロ」に代表される有力な新商品を発売できる商品開発力ならびにマーケティング力を備えている点であります。

民事再生手続きを申し立てた東ハトのスポンサーとして2003年5月にユニゾンが資本参加をして以降、同社は新経営陣の下で、主力ブランドの再構築、共同株主であるバンダイと「チョコビ」をはじめとするコラボレーション商品の開発、丸紅との代理店契約を通じた販売力の強化などを行ってきました。同時期に行った関東工場への大規模投資による生産能力の増強や、新商品開発が奏功し、業界トップクラスの成長性と収益性を誇る菓子メーカーへと変貌することに成功しました。

一方で、菓子業界の競争環境は少子化や小売業の寡占化を背景により厳しさを増すものと予想されます。そうした中、東ハトの長期的な成長を基礎研究力などで強固にサポートできる最適なパートナーを求めていたユニゾンと、グループの製菓事業の更なる発展を目指していた山崎製パンとの間で考えが一致し、東ハト経営陣の合意のもと、本契約を調印するに至りました。

本契約に基づき、7月19日に山崎製パンへの株式の譲渡が実行される予定です。

なお、本件においては、日興シティグループ証券株式会社がユニゾンのフィナンシャル・アドバイザーを務めております。

以上